

姫路市の蝶

ジャコウアザミサミット



2013年 2月23日(土)13時半より

姫路科学館

4階講堂●参加無料

主催●姫路商工会議所青年部 スローライフひめじ委員会



ジャコウアゲハサミット開催に向けて

平成元年にジャコウアゲハが市蝶に指定されたにもかかわらず、姫路市民の認知度は、あまり高いものではなく、むしろ知らない市民が大半です。しかし、姫路市のおもてなしを考える上で、ジャコウアゲハでまちおこしができるのではないかと考えます。

ジャコウアゲハがあっちこちで飛び交うまちを想像してみると、何と華やかで情緒溢れる光景ではないでしょうか。たとえば、姫路城の内濠や中濠を飛び交う様子は画になります。ましてや姫路駅を降り立った瞬間に黒い蝶がユラユラと飛び交う姿を見れば、誰もが心おぼれすることでしょう。どこにもない風景です。なかなかそんな街は他には見た事ありません。このような事は姫路の魅力向上に繋がることであると確信します。

また、ジャコウアゲハは、「昆虫教材」としてもモンシロチョウやアゲハよりも良い教材と考えられます。市内全域の学校など学び育てることができたら市の蝶は「ジャコウアゲハ」である事、生き物を育てるという事で自然を学ぶことになり、姫路市に住んでいる事を実感することに繋がるのではないのでしょうか。

まちづくりの観点

現在整備中の姫路駅周辺や姫路城の改修があと3年で完了します。その新しい整備された空間や大手前通り、姫路城周辺にジャコウアゲハが飛び交えば何ととも穏やかで優雅なまちが創出されることでしょう。又姫路の魅力の向上にもなると考えられます。

ジャコウアゲハは「おもてなし」の創出であり、市民にとって市蝶である事の再認識によって郷土愛育成へと繋がり、そのこと自体、まちづくりの基盤となると考えられます。

人材育成の観点

○ 理科教育の「昆虫」の教材として最適と考えられます。

- 1 成虫の期間が長い。(4月～9月にかけて年3回発生)
- 2 幼虫の野外観察がしやすい。(鳥の糞に似ている。毒があり鳥が食べない)
- 3 成虫は食草ウマノスズクサから離れない。成虫の飛び様子や産卵も観察できる。
- 4 お菊虫との関係が地域教材として最適。姫路独自の教育ができる。

姫路市内小学校のカリキュラムに取り入れ、ジャコウアゲハを育てる活動から学ぶ。

提案事項

これらを考え併せ、一度これまでジャコウアゲハに取り組みまれてた団体や個人の参加を得て、ジャコウアゲハでまちづくりができないかを探る為にジャコウアゲハサミットの開催を提案いたします。

ジャコウアゲハサミット

日時 平成25年2月23日(土) 13時半～

場所 姫路科学館4階講堂

出席 ジャコウアゲハをキーワードにまちづくりを考える方々と一般の方150名

- 1、開会
- 2、会長挨拶 姫路商工会議所 青年部 会長 室田幸辰
- 3、市長挨拶 姫路市長 石見利勝氏
- 4、ジャコウアゲハ親子スケッチ表彰式 山田真理子氏
- 5、主旨説明 スローライフひめじ委員会 委員長 尾上劉次
- 6、基本提言 まちづくりと教育への提言 元姫路科学館館長 上田倫範氏
- 7、研究発表
 - ・姫路市植物園ウマノスズクサのさし木栽培成功発表
 - ・姫路市手柄小学校の取り組み発表
 - ・姫路市船場小学校の取り組み発表
 - ・姫路城下町街づくり協議会
 - ・姫路白鷺ライオンズの取組について
 - ・大阪ガスの取り組みについて(コーディネーター米谷啓和氏、石見市長、他 専門家)

8、ジャコウアゲハサミット宣言

9、謝辞 姫路商工会議所 青年部 副会長 仲本寛

10、閉会

(ウマノスズクサ自生地、栽培地についてはロビーにてパネル展示)

